



静岡市中央卸売市場を拠点とした 物流形成について

2023年10月11日

静岡VF株式会社 企画開発部 望月洋平



contents

①静岡VFを拠点とした青果物輸出について

- ・静岡VFの機能について
- ・山の洲輸出物流構築協議会について

②24年問題と清水港誘致について

1. 中央卸売市場の機能

- ・ 集荷機能

北海道から九州までの日本中の産地から大量かつ安定的に青果物を集荷する

- ・ 分荷機能

大量に集荷した荷を買受人ごとに細かく仕分けを行う

- ・ 価格形成機能

目利きにより売り手と買受人の間で価格を決定する

- ・ 代金決済機能

決定された価格を即時に出荷者に支払う

- ・ 情報発信機能

産地情報と市況（価格・入荷量等）の公表を毎開市日に実施

重要な機能を、卸売業者が果たしています

2. 静岡市中央卸売市場の立地



アクセス状況

- ▶ 静岡IC 10km 28分
- ▶ 新静岡IC 4km 6分
- ▶ JR貨物駅 4km 14分
- ▶ 清水港 11km 22分
- ▶ 静清バイパス . 1km 4分
- ▶ スマートIC . . . 7km 20分
(日本平久能山)
- ▶ 長野市 242km 198分
- ▶ 甲府市 100km 88分

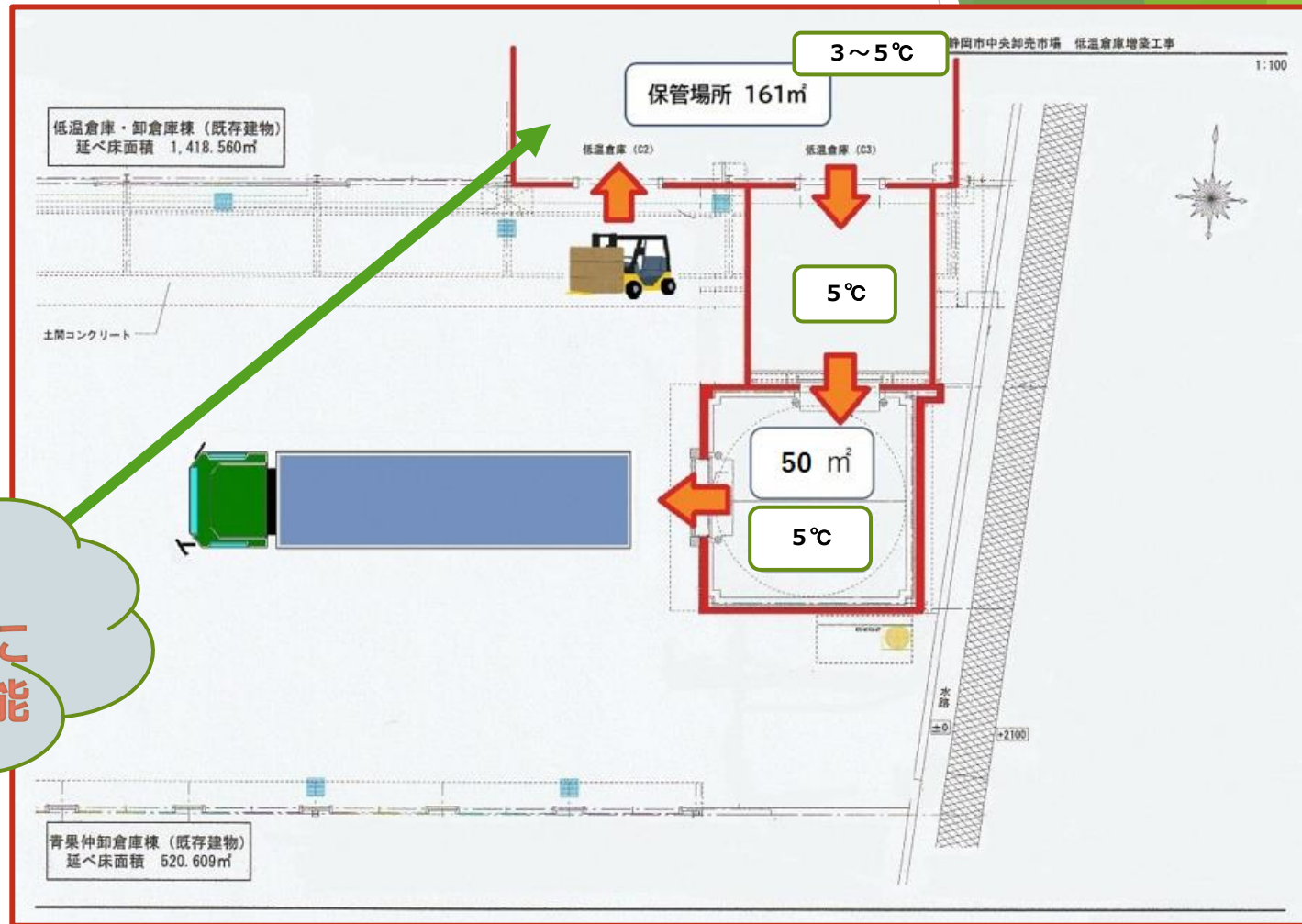
清水港と中部圏、東西を結ぶ抜群の立地条件

3. 輸出用バンニング施設（物流動線）

集荷から発送までの
低温管理を実現！

- ・リーファープラグ設置
- ・低温倉庫～プラットホーム動線
- ・各エリアを防熱扉で区画

3℃の保管場所で
船便スケジュールに
合わせ一時保管可能



4. 輸出及びコールドチェーンの確保①

ドックシェルター (静岡VF内)

リーファープラグにより
待機中のリーファーコンテナ
に電源供給でき、空コンテナ
内の温度管理が可能



5. 検品作業（台湾向け輸出）

① 残留農薬規制

★日本、台湾では残留農薬規制値が違うので、輸入検査で不合格となるリスクあり
→台湾の農薬基準に即した圃場管理が必要！

② 植物検疫に関する規制

★りんご、梨、桃、すももについては、モモシンクイガに対する規制あり。生産園地・選果梱包施設の登録が必要
→これらに限らず、虫の混入は許されないので、水際での検品作業が必要！



ぶどうの
検品作業
(10℃～5℃
帯での作業)

6-①. 静岡V F施設 を利用した風景

▶写真

パレタイズ、植物検疫を施設内で実施し、税関職員による、通関検査を受けます



7-②. 静岡V F施設 を利用した風景

▶写真

植物検疫、税関検査に合格後、
コンテナバンニングを実施

コンテナ内は、輸送中の衝撃に
も耐えられるよう、リーファ
ロックやラッシングバーなどを
利用し、固定します。



フィードバック・参画を促し、現地ニーズに合った品目の物流構築

山の洲輸出物流構築協議会

- 静岡VF株式会社
- 静岡県経済農業協同組合連合会
- 株式会社世界市場
- 鈴与株式会社
- 株式会社ハマキョウレックス
- 駿遠運送株式会社
- 株式会社ヤマヨ物流

宣伝・連携

有望品目伝達

山の洲に関心のある輸出商社

山の洲の品目に関心がある輸出商社と
広く意見交換(ヒアリング)

- 世界市場(台湾・香港)
- Z社(各国)
- K社(香港)
- S社(タイ)
- F社(マレーシア)※現地側

…多数問い合わせあり

山の洲(静岡・山梨・長野)品目を静岡VFで調達・バンニングできる仕組み・体制を強化

清水港×静岡VFの輸出の取組サマリ

2021

産直港湾認定

- 産直港湾認定、静岡VFにドッグシエルター設置

2022

実証フェーズ
(県・国)

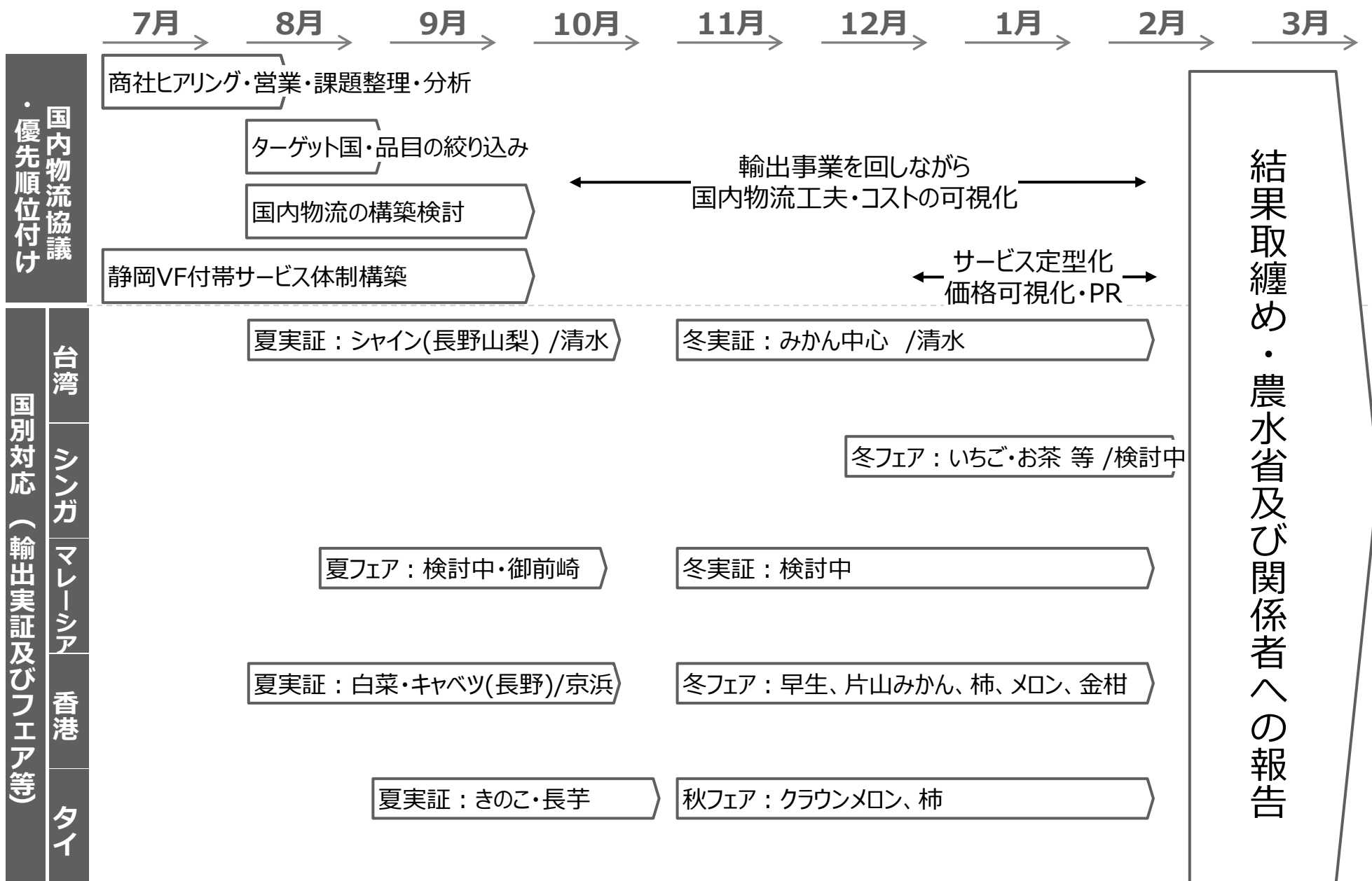
- 実証で清水港の課題・強みの特定
 - 課題：船足遅い、CAコンテナ回送費大、ニーズの高い品目の荷量集まりにくい、商流安定しない
 - 国・品目のターゲットを絞る必要
 - 強み：産地が近いいため輸送コスト低減できる、静岡VFのバンニング・付帯サービスの利用料安い

2023～

補助
+ 連携強化フェーズ

- 物流を安定させて、ターゲット国にウケる品目を安定して調達する国内物流を構築する
- ターゲット国での商流構築(フェア)、商物流の安定化の取組(実証・価格開示等)を行う

事業スケジュール(案)



エグゼクティブサマリ（計画概要）

- **目的：静岡VFで効率的集荷を行い、産地及び輸出商社など関係者がメリットある（儲かる）仕組みを構築したうえで輸出を促進する**
- **ターゲット：航路を踏まえると、台湾・ベトナム・タイ・シンガポール・マレーシアが有望国**
 - うち、産地育成も踏まえると、台湾・シンガポール・マレーシアが有望（ベトナム・タイ→みかん等、3年間の準備期間を要するため、戦略的に産地育成）
 - **有望品目：メロン、ぶどう・シャイン、夏の長野産キャベツ・白菜、青島片山みかん、いちご**
 - **特に、シャイン、夏の長野産白菜や青島片山みかんが有望で、これら主とした物流を考える**
- **勝ち筋：①台湾向けみかん、シャイン、メロン、②シンガ・マレーシア向けリーファーで鮮度保持して運べる低リスク品目、③タイ向けきのこ、メロン、いちご、④香港向け物流サービス差別化商品(緻密に検品した白菜・キャベツなど)**
- **清水港から輸出が競争力を持つ条件（≡協議会の意義・協議の内容）**
 - **国内物流(市場便)の強化ポイントの見極めと方法検討、トラック事業者様の協力体制**
 - 静岡VFにおける価格競争力のある**付帯サービス(検品等)**の活用
 - 静岡・山梨・長野の**産地との連携強化、産地育成**

静岡VF拠点での輸出仕向け地 ~台湾・香港・タイ・ベトナム・シンガポール・マレーシア

台湾	清水港	EMC; 土, 4日(台北)	WANHAI; 木, 4日(基隆) 5日(台北)、6日(高雄)	WANHAI; 金, 5日(台北)
	御前崎港	—	—	—
	京浜港	ONE; 月, 7日(台北)	WANHAI; 火, 5日(台北)	—
香港	清水港	ONE; 月, 7日(+土日)(香港)	ONE; 水, 11日(香港)	WANHAI; 木, 8日(香港)
	御前崎港	OOCL 月, 9日(+土日)(香港) *内航フィーダーで横浜経由	—	—
	京浜港	OOCL; 土, 5日(香港)	ONE; 日, 8日(香港)	—
タイ・ベトナム	清水港	EMC; 土, 8日(ダナン) , 10日(ホーチミン)	ONE; 水, 11日(レムチャバン)	—
	御前崎港	—	—	—
	京浜港	ONE; 水, 11日(カイメップ)	ONE; 水, 9日(レムチャバン), 13日(バンコク)	WANHAI; 月, 13日(レムチャバン)
シンガポール・マレーシア	清水港	ONE; 月, 11日(+土日)(シンガ) 13日(+土日)(ポートケラン)	—	—
	御前崎港	ONE; 水, 9日(シンガ) 11日(ポートケラン)	—	—
	京浜港	ONE; 土, 9日(シンガ)、 12日(ポートケラン)	WANHAI; 月, 12日(シンガ)	—

所与の条件：航路が少ない・船足が遅い（清水港→台湾、タイ・ベトナム、御前崎→シンガ・マレーシアは比較的豊富）

商流構築

優先国の連携先商社との関係強化

- ・ **【最優先】台湾**：世界市場
- ・ **【優先】シンガポール**：Z社、マレーシア：世界市場、Z社、F社
- ・ **【次点】香港**：世界市場、K社、Z社、タイ：S社、Z社 等

物流・サービス

国内物流輸送コストの低減・運行管理効率化

- ・ 産地→静岡VF(⇔他市場)の物流構築、コスト減策

付帯サービス

- ・ 付帯サービスのバリエーション、検品、強化梱包 等
- ・ 現実的な鮮度保持技術(シンガ・マレーシア)

産地育成

農薬規制・選果梱包施設

- ・ **台湾**向けの農薬規制対応、タイ向け選果・梱包施設

物流への対応

- ・ 早朝出荷への対応、運転手の積み下ろし作業負荷低減

商流に関する協議

大ロット化・定期化を図り静岡VF×清水港の輸出物流の効率化を達成できるよう、山の洲の産地・地域商社・輸出商社との連携を強化して良いモノをより多く輸出できる関係を構築する

<取組例1>

- ・ 静岡VF×清水港(御前崎港)の組み合わせで強い仕向け地＝台湾、シンガポール、マレーシア、タイ、ベトナムなどにおける山の洲フェアの開催・企画

<取組例2>

- ・ 付帯サービスとして静岡VFにおける検品や梱包強化、パレタイズなどのサービス力を強化して、価格競争力・品質を担保する

<取組例3>

- ・ 農薬規制や選果梱包施設の登録など、規制の厳しい仕向け地に対応する産地の育成、VFの対応

所与の条件：航路が少ない・船足が遅い（清水港→台湾、タイ・ベトナム、御前崎→シンガ・マレーシアは比較的豊富）

商流構築

優先国の連携先商社との関係強化

- ・ **【最優先】台湾**：世界市場
- ・ **【優先】シンガポール**：Z社、マレーシア：世界市場、Z社、F社
- ・ **【次点】香港**：世界市場、K社、Z社、タイ：S社、Z社 等

物流・サービス

国内物流輸送コストの低減・運行管理効率化

- ・ 産地→静岡VF(⇔他市場)の物流構築、コスト減策付帯サービス
- ・ 付帯サービスのバリエーション、検品、強化梱包 等
- ・ 現実的な鮮度保持技術(シンガ・マレーシア)

産地育成

農薬規制・選果梱包施設

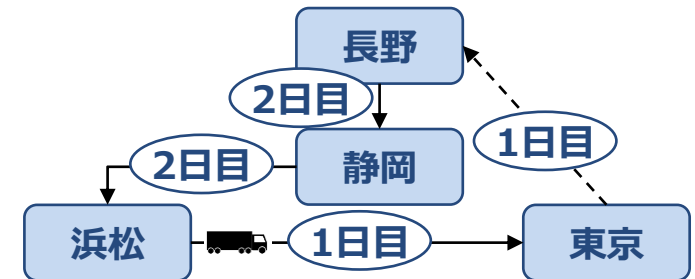
- ・ **台湾**向けの農薬規制対応、タイ向け選果・梱包施設
- ・ 物流への対応
- ・ 早朝出荷への対応、運転手の積み下ろし作業負荷低減

物流に関する協議

2024年問題も踏まえた運行管理を共に考え、定期的に静岡VF×清水港の輸出ができるように一丸となって取り組むことで、商流・物流プレイヤー-WinWinの連携体制を構築する

<取組例1>

- ・ 静岡閑散期 & 長野繁忙期(夏～秋口)に静岡の物流プレイヤーが運行工夫



<取組例2>

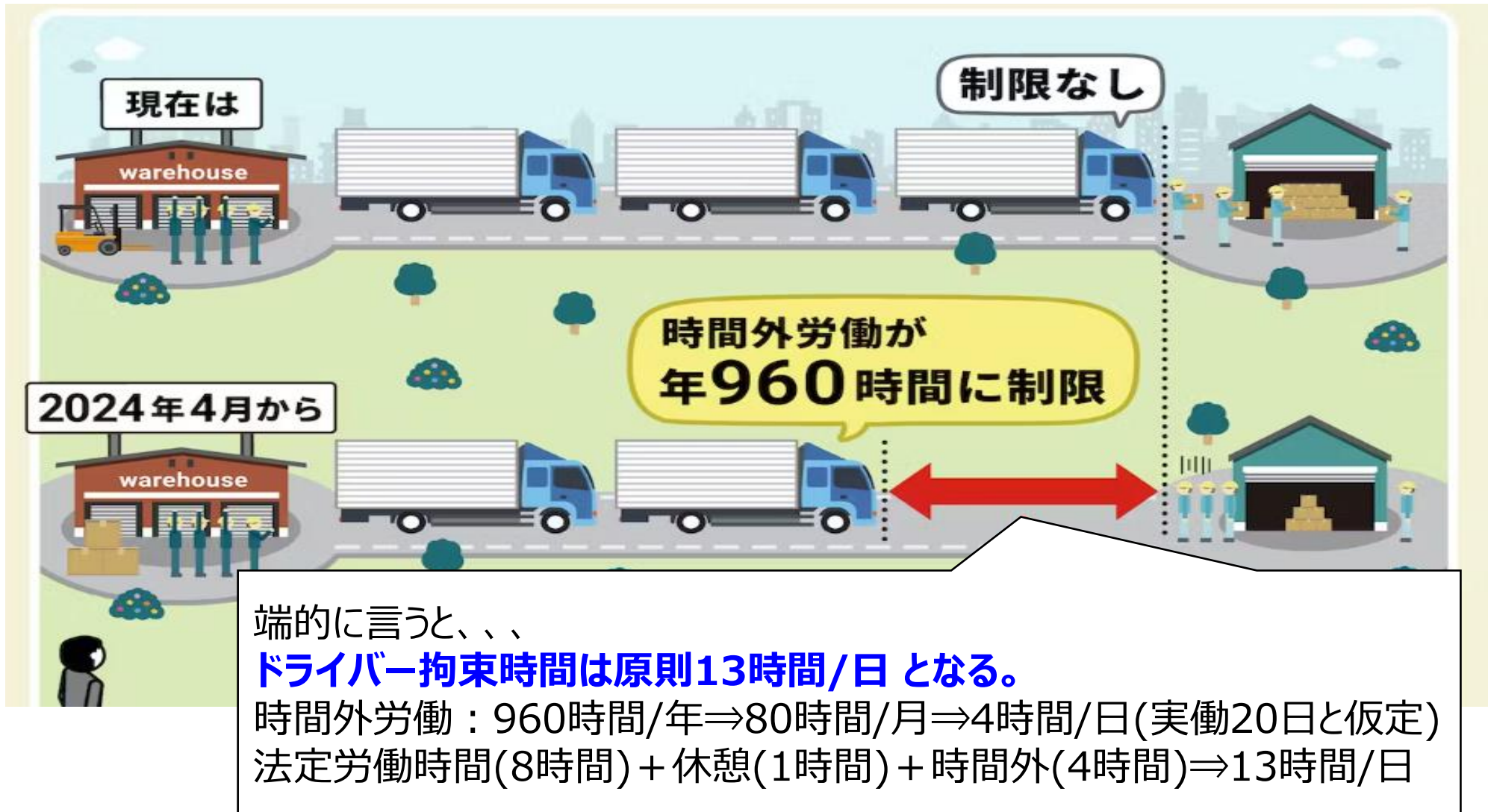
- ・ 静岡県内産地の出荷時間を早めて立ち寄れる箇所を増やす
- ・ 定期的に静岡VFに卸す物量を増やして、複雑な東京での荷下ろし負荷を減らす 等

静岡VFの付帯サービス一覧

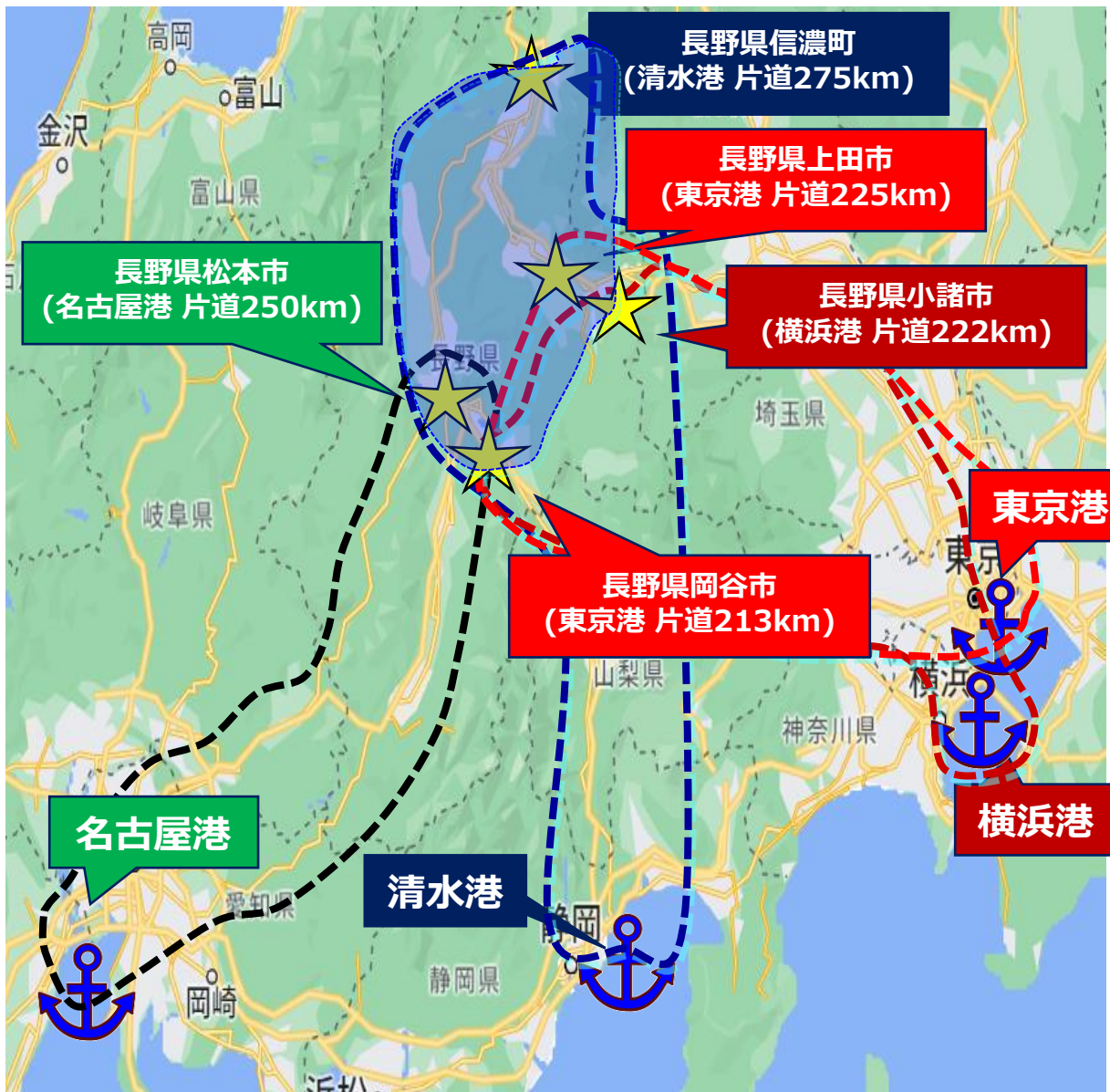
	品目	サービス料金	備考
検品	キャベツ、白菜、 ぶどう等	検討中	- キャベツ・白菜は全品検品可(バン1～2日前) - ぶどう（内容、応相談）
梱包	全て	検討中	- 採集コンテナから段ボールへの梱包も可能 - 産地から段ボール潰れの恐れがある場合の補強
パレタイズ	全て	下記バンニング料 に含む	コーナーガード取付、PPバンド固定
バンニング	全て	30,000円 (1500円/パレット)	- 商流通さない場合は倍額 - CAコンテナの場合は資材費などは別途必要
その他	青果物	検討中	- 段ボール蓋加工などは無料 - 商品化、加工、フルーツキャップ付け等は応相談

24年問題対応に向けた清水港活用の可能性

ドライバー時間外労働 新旧比較図 *出元 日経新聞web版(2023年7月25日)



輸送可能エリア比較(京浜港・名古屋港起点 vs 清水港起点)



これまでの前提を基にすると、京浜港と名古屋港と青塗の地域を往来する場合、

- ①輸送できなくなる、あるいは
- ②中継基地等の利用を余儀なくされ、輸送コストが増加する。

一方で、清水港発着であれば、青塗の地域でも従前通り輸送が可能。

当該地域発着の商材を抱えるお客様にとって、24年問題解決の観点から清水港のご利用が選択肢となりえないだろうか。

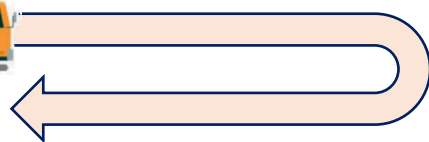
24年問題対応に向けた清水港活用の可能性

参考事例 A社様)

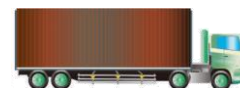
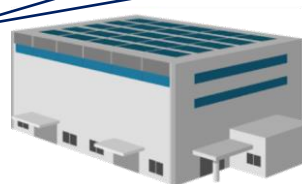
24年問題への対策として、港頭倉庫での荷待ち時間短縮による国内トラックの輸送効率向上を目的に、タイ向け輸出貨の一部で清水港利用。

積載する船は横浜積と同じ本船(ONE)

ドライバー拘束 1泊2日(横浜港経由)

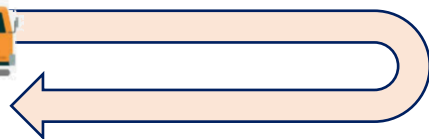


混雑、荷待ちで長時間待機

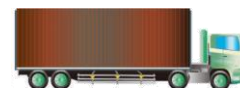


横浜港周辺倉庫の混雑、荷待ち時間長く、納入時間が読めない。
→前日夕方に上田市を出発し朝一に倉庫搬入。結果、1泊2日の運行となっていた。

ドライバー拘束 1日(清水港経由)



混雑、荷待ち少ない



清水港周辺倉庫では混雑なく、荷待ち時間も短い。納入時間が読める。
→当日朝に出発し、昼前に清水到着。夕方には帰着でき1日での運行が可能。